

03 学習効率をアップさせるための 教具・グッズの活用方法は？



A 実践している先生をモデルに、
子どもの立場に立って考え、
まずはやってみよう！

日進月歩のデジタル系も含め、子ども主体の学びをサポートする教具やグッズを上手に使いこなしている同僚が傍にいませんか？まずは「まねてみる」→「子どもたちの反応に応じて改善する」という発想で取り組んでみましょう。

子どもの立場から学習の効率化を工夫しようと追求する教員の意識

繰り返し活用するものを創意工夫することで、学習効果を上げる。

子どもたちの願い

具体的な活動を通して、
内容の意味理解を深め
たい。分かるように、
できるようになりたい。



活動の流れが、「見れば分かる」
というものがあるといいなあ。



言葉だけでなく、書いたり、
動かしたりして、みんな
考えられるといいなあ。



いつも使える教具やグッズが
あると便利だな。



担任の意図

学習の目標に迫る適切な
教具・グッズを用いて、子
どもに生き生きと活動させ、
内容を定着させたい。



教具やグッズをうまく使っ
ている同僚(実践者)が近く
にいないか探す。



その同僚の意図を理解し、
方法をまねて実践してみる。



子どもの反応に応じて、
工夫・改善し、オリジナルの
取り組みにしていこう。



教具・グッズ等の効果的活用

子ども自身が自分の考えを具体化したり、表現したりして、
友達と学び合い、学力を高める授業

少しの工夫で学習効果がアップする教具・グッズを上手に使おう！

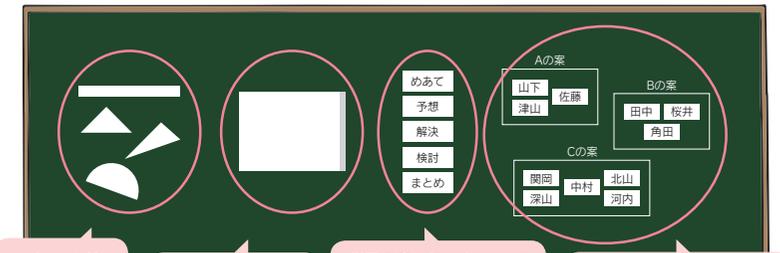
学習活動の効率化で授業を変える！

学習指導要領の改訂で注目を集めた「アクティブ・ラーニング」が目指すものは、これまで繰り返し強調されてきた、子どもが主体的に学ぶ姿の実現である。言葉こそ変わっていても、子ども自ら教材・教具に働きかけ、学習内容を実感的に習得する指導の在り方を指すということは変わっていない。これまでと同様の言葉の流行で終わっては、次の改訂でまた新たな言葉が出てくる。これを機に、学習活動の効率化による授業改善という視点で実践を試みたい。

学習教具の工夫・活用で指導意欲もアップ

学習指導にあたっては、教具を上手に扱いたい。その前提には、その活動を通して子どもにどのような力を身につけさせたいか、そのためには教具をどう活用すると効果があるか、これらを指導者の意図として明確にもっている必要がある。その準備ができている授業は、「早く指導をしてみて、子どもの反応を確かめたい。」と指導者もワクワクするものである。当然、子どもの活動意欲と内容の習得率は向上するはずである。

黒板にマグネットで掲示する便利な教具・グッズ



マグネット付き
市販用定規で、
線はまっすぐ、
説明もしやすく。

黒板専用マグネット
スクリーンで管理も
しやすく。

学習の流れをマグネットで
カード化しておき、今、取り
組んでいる活動をひと目で
分かるように。

マグネットネームカードで
子どもの考えを表示・整理する。

デジタル教材・教具を上手に活用する。

デジタル教科書

教科書の紙面を電子ブック化。紙面の一部を隠して提示したり、関連動画や朗読を再生したり、紙面内に書き込みをしたりすることができる。



【デジタル教科書道徳(デジ徳)】
光文書院の道徳教科書「ゆたかな心」の教師用指導書セットをご購入で、学習者用・指導者用コンテンツが無償で利用できる。

デジタル教材

教材がデジタル化されている。絵や写真資料に色をつけたり、関係資料を比較したり、教科書に準拠したものが豊富に工夫されている。



【デジタル社会科資料集(デジしゃか)】
光文書院の社会科資料集の教師用付録、資料集掲載の資料を拡大比較するなどできる。インタビュー動画や歴史アニメーションなども収録。

タブレット端末

PCに比べてコンパクトで、写真や動画を撮って比較検討したり、インターネットで資料検索したりして、手軽に活用できる。



【デジタル漢字ドリル(デジ漢)】
光文書院のくりかえし漢字ドリルや国語ドリル等の付録。タブレット端末にインストールして、学習者用コンテンツが無償利用できる。